

講座だより



【講義の様子】

令和3年12月25日（土）にテーマ別講座の『森のようちえんの手法と安全管理』を実施しました。講師は野外保育ゆたかの京井麻由氏と認定NPO法人時ノ寿の森クラブの大石淳平氏です。実際に森のようちえんを運営している京井氏からは森のようちえんの概要や具体的な手法、安全管理について教えていただきました。大石氏からは週末に行っているイベント型の森のようちえんの活動事例の紹介をしていただきました。

【午前】森のようちえんの手法

午前中は講師の京井氏の活動を紹介しながら、森のようちえんについて、基本的な考え方や概要について学びました。まず最初に森のようちえんの概要として日本の森のようちえんの現状が語られました。次に森のようちえんの役割として、自然の中で行う保育は子どもの非認知能力を高め、多様性を認め合う感覚を育むことができることが語られました。また、指導者のあり方として、講師が経験した具体的な事例を示しながら、子どもと信頼関係を築き子どもの力を信じて観察をすることが重要であると説明がありました。



【グループワークの様子】

【午後】森のようちえんの安全管理・県内事例の紹介

【安全管理のシミュレーションの様子】



午後は、会場の近くの公園を使い安全管理についてフィールドワークを行いました。グループに分かれてフィールドの危険箇所を考えたり、子どもに起こりそうなケガのシミュレーションを行いました。その後、室内に戻り講師の大石氏が週末にイベント型で実施している活動について紹介がありました。日常型で通年保育を行う方法だけでなく、参加者を募集しながら週末だけ実施するイベント型の方法は、これから森のようちえんを始めたい受講者には、とても参考となる学びの多い講義になりました。

＜発行元＞

静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課 自然ふれあい班
電話:054-221-2848 Eメール:fureai@pref.shizuoka.lg.jp